

科目番号	20	科目名	視覚文化	
英 文 科 目 名	Visual Culture			
大学・短期大学名	滋賀文教短期		大学	
連 絡 先	滋賀文教短期大学			
	TEL :	0749-63-5815	FAX :	0749-65-1921
担 当 教 員	河村 悟郎		(国文学科 講師)	
教 室 名	本館 304教室	会場	滋賀文教短期大学	
授 業 期 間	2021 年 4 月 9 日 (金) ~ 2021 年 7 月 23 日 (金) <毎週 金 曜日> 1 時限・講時 9 : 05 ~ 10 : 35			
超過時の選考方法	書類選考			
成績評価方法	定 期 試 験 (筆 記)	50	%	
	レポ ー ト 試 験 (期 末)		%	
	平 常 点 (出 席 ・ 授 業 態 度)		%	
	そ の 他 (小 テ ス ト ・ 提 出 物)	20・30	%	
別 途 負 担 費 用	なし			
そ の 他 特 記 事 項	<p>◎欠席の場合は事前に連絡をすること。 ◎新型コロナウイルス感染拡大の状況により遠隔講義を実施する場合があります。 ・映画鑑賞①・②で見る作品は、講義の進行度と受講者の関心によって決定します。 ・講義中に鑑賞しなかった映画も積極的に見てください。 ・小テスト(5点×4=20点)を合計4回(前半に2回、後半に2回)実施します。 ・定期試験終了後、希望者には解説及びメールでの質問を受け付けます。</p>			
<講義概要・到達目標>				
【講義概要】 120年にわたる日本映画の歴史を、社会・文化状況に注目しながら概観する。その中で、各時代の代表的な作品や監督を取り上げ、それらがどのように日本文化(時には海外の文化)に影響を与えてきたのかについて検討していく。また、電子黒板を用いて映像を鑑賞し、その内容についてディスカッションすることで、映画という視聴覚メディアが持つ特徴を明らかにする。				
【到達目標】 1. 日本映画のジャンルや時代ごとの特徴を、区別して説明することができる。 2. 映画作品を様々な視点から鑑賞してディスカッションすることができる。 3. 映画作品について、自分なりの解釈に基づいて評論することができる。				
<授業スケジュール>				
回	月日	テーマ・キーワード		
1	4 月 9 日	イントロダクション 映画とは何か		
2	4 月 16 日	映画の到来と活動写真		
3	4 月 23 日	無声映画		
4	5 月 7 日	トーキー革命		
5	5 月 14 日	戦時中の映画製作		
6	5 月 21 日	連合軍占領下の映画製作		
7	5 月 28 日	映画鑑賞①(戦前の作品を評論する)		
8	6 月 4 日	戦後の黄金時代		
9	6 月 11 日	激動の60年代		
10	6 月 18 日	スターシステムの消滅		
11	6 月 25 日	スタジオシステムの崩壊		
12	7 月 2 日	インディーズ映画の興隆		
13	7 月 9 日	映像メディアの大変化と制作バブル		
14	7 月 16 日	日本映画の現在地と未来		
15	7 月 23 日	映画鑑賞②(現代の作品を評論する)		
<教科書・参考書>				
【教科書】・『日本映画史110年』四方田犬彦著、集英社新書、2014年、¥900(本体) ・講義ごとにプリントを配布します。				
【参考書】・講義中に適宜紹介します。				